

# 第1章 新クイックプランの概要

# 第1章 新クイックプランの概要

## 1 基本方針

雨水対策事業は、これまで1時間50mmの降雨（概ね3年に1回程度発生する確率）に対応するための幹線やポンプ所などの基幹施設整備を計画的に進めてきた。しかし、この雨水対策事業は、施設が完成すれば確実な効果が得られるものの、施設規模が大きい幹線やポンプ所などでは、事業効果が発揮されるまでには長い年月と多大な費用が必要となる。一方、近年では1時間50mmを超える雨が局所的かつ短時間に降ることから、地区によっては繰り返し浸水被害が発生するようになっており、平成11年夏に発生した集中豪雨では3,500棟を超える浸水被害が発生した。

こうしたことから、「できるところから、できるだけの対策を行い、浸水被害を軽減させる」という整備方針で貯留管の整備など緊急的な対応を図る「雨水整備クイックプラン」を策定し、実施してきた。

今回の新クイックプランは、これまでの整備方針や後期5カ年の事業内容を引き継ぐとともに、新たに浸水被害を受けている地区を追加し、平成20年度までの5カ年計画として改定する。

図1-1 クイックプランの計画期間

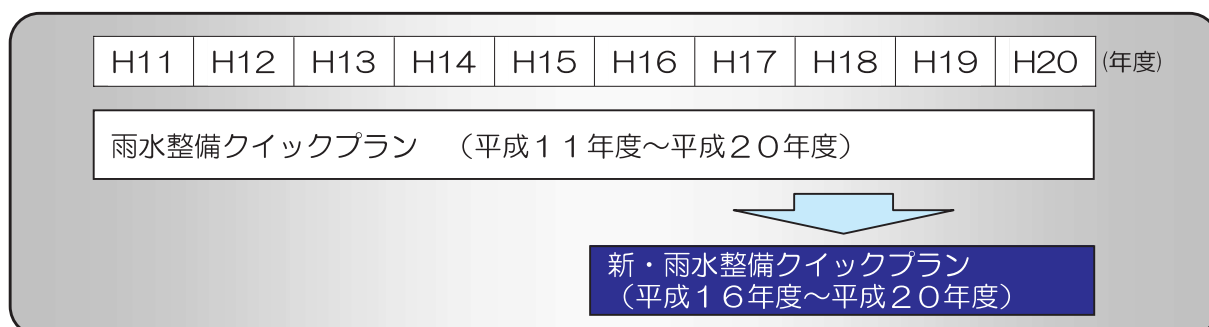


図1-2 新・雨水整備クイックプランと雨水整備クイックプランとの関係

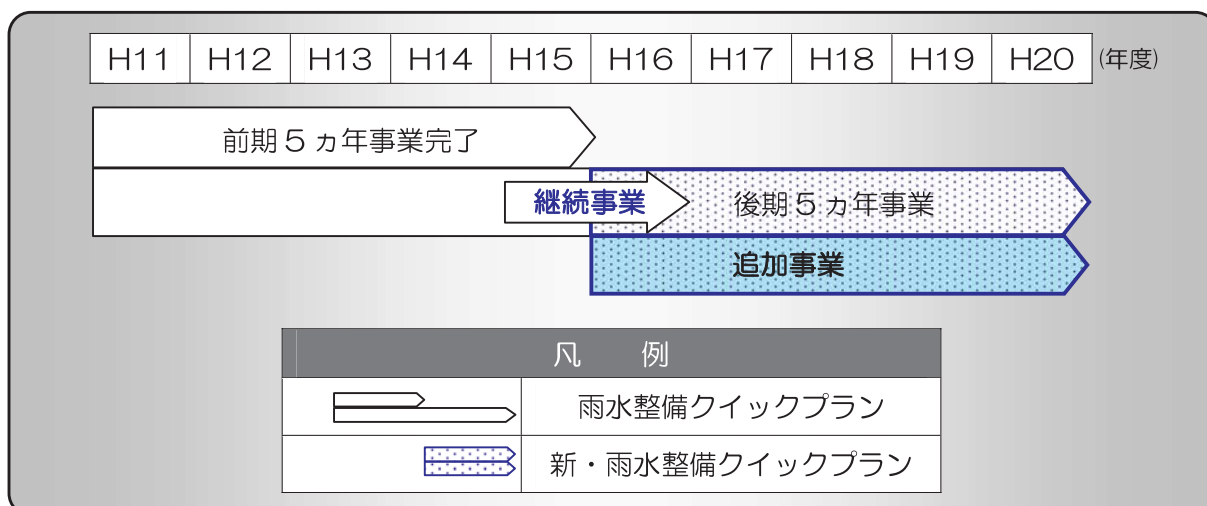
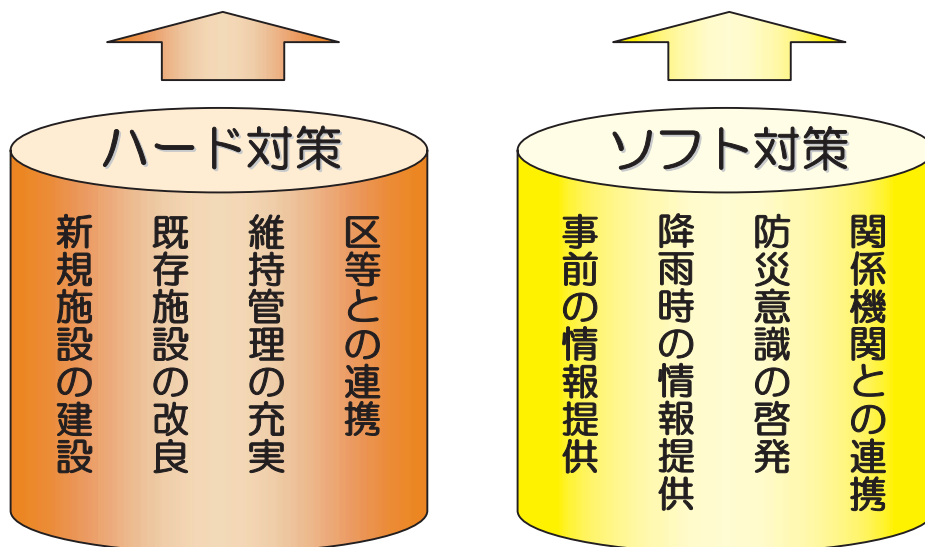
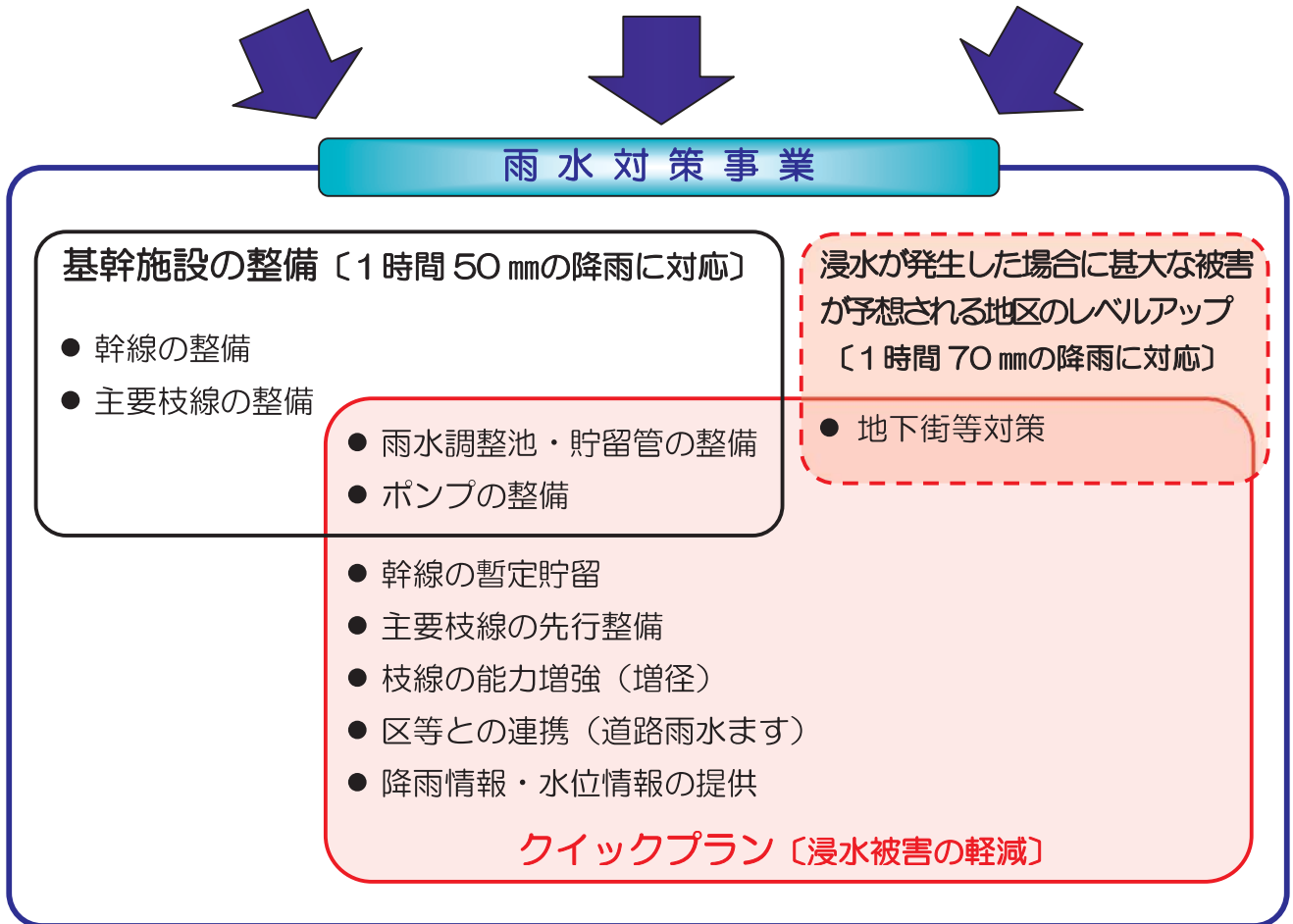


図1-3 「3つの視点」と新・雨水整備クイックプラン

お客様の視点	環境の視点	経営の視点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果が早期に実感できる対策</li> <li>・浸水被害軽減のための情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境にやさしい工法の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な施設整備の推進</li> <li>・新技術の導入・活用</li> </ul>



## 2 改定のポイント

新クイックプランでは、ハード対策はこれまでの事業成果を踏まえ、効果のある対策を継続するとともに、繰り返し浸水被害を受けている地区を新たに追加した。また、ソフト対策は、これまでの取組を体系化した。

### (1) ハード対策（施設整備による対策）

**新規**：事業効果を流出解析シミュレーションにより事前に評価

(p.30～33 参照)



重点地区

**追加**：繰り返し浸水被害が発生している地区などを追加

(p.29,34 参照)



重点地区、小規模対応箇所

**追加**：ポンプ所の運転実績から対策が必要となった地区を追加

(p.35 参照)



ポンプ対策地区

**継続**：後期5カ年分の事業を継続

(p.28,29,34,35 参照)



重点地区、小規模対応箇所、地下街等対策地区、ポンプ対策地区

### (2) ソフト対策（リスクコミュニケーションの充実）

**継続**：浸水の危険性を防災関係者及びお客さまに事前に周知

(p.37参照)



「浸水予想区域図」の作成・公表

**継続**：降雨情報などをリアルタイムで提供

(p.39～41参照)



「東京アメッシュ」の携帯電話・ホームページへの配信、「幹線水位情報」の提供

**継続**：雨期前に、浸水に対する備えを戸別訪問でPRし、防災意識を啓発

(p.42,49参照)



「浸水対策リーフレット」の配布

### 3 地区別計画

各地区の対策を立案するにあたり、浸水被害の状況や対策内容に応じて4つに区分した。また、それぞれの地区ごとに選定理由と取組、これまでのクイックプランからの継続と新クイックプランで追加する地区数を示した。

#### (1) 重点地区

- 平成11年度以降、繰り返し浸水被害が発生している地区を選定  
 ※追加する地区は、事業効果を流出解析シミュレーションにより事前に評価し、対策前後の結果をイメージ図で比較するなど、お客さまにわかりやすい計画となるよう工夫
- 幹線や主要枝線を先行整備し、貯留管として利用するなど、効果的な対策を実施  
 (p.28~33 参照)

	継 続	追 加	合 計
重点地区	18地区	7地区	25地区

#### (2) 小規模対応箇所

- 平成11年度以降、浸水被害が発生し、区やお客さまの要望などがある箇所を選定
- 小規模な管きよのループ化や人孔の改良など、既存施設の小規模改良を実施  
 (p.34 参照)

	継 続	追 加	合 計
小規模対応箇所	1箇所	25箇所	26箇所

#### (3) 地下街等対策地区

- 浸水が発生した場合に甚大な被害が予想される、大規模な地下街を有する地区を選定
- 1時間70mmの降雨（概ね10年に1回程度発生する確率）に対応する貯留施設などを整備  
 (p.34 参照)

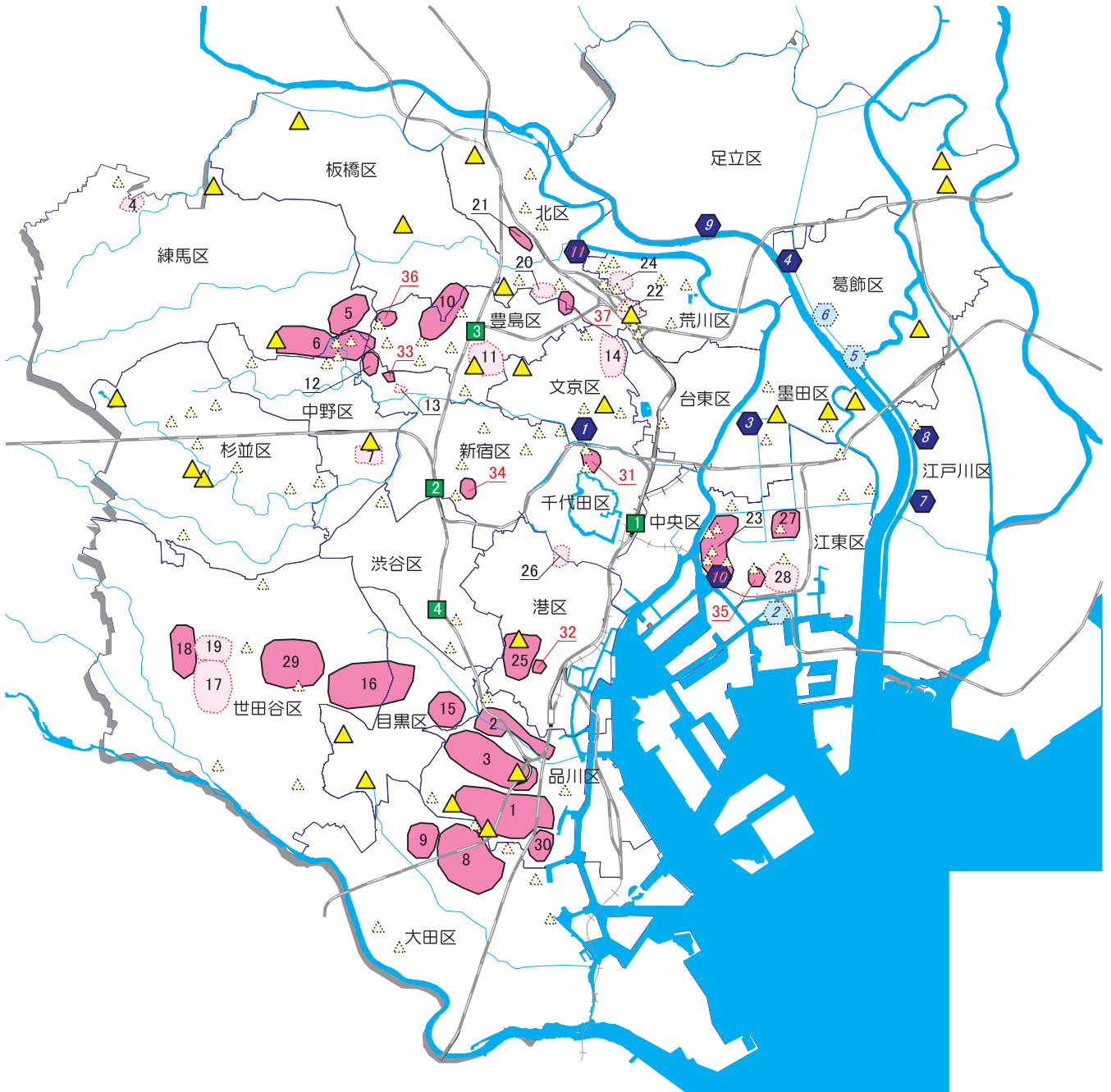
	継 続	追 加	合 計
地下街等対策地区	4地区	—	4地区

#### (4) ポンプ対策地区

- 1時間50mm未満の降雨で、ポンプが全台運転した実績のあるポンプ所を選定
- ポンプの更新や能力増強などの計画と整合を図った上で、先行待機形ポンプに取替え  
 (p.23,35 参照)

	継 続	追 加	合 計
ポンプ対策地区	6地区	2地区	8地区

図1-4 雨水整備クイックプランの対策地区



	新クイックプラン 対策地区	前クイックプラン 完了地区
重点地区		
小規模対応箇所		
地下街等対策地区		
ポンプ対策地区		

※ 対策地区の番号は前クイックプランから継承 (p.14,15 参照)  
 ※ **赤数字**は新クイックプランの追加地区 (p.29,34,35 参照)


#### 4 計画期間

平成16年度～平成20年度（5カ年計画）

#### 5 計画事業費

約520億円







# 浸水ゼロ・安全・快適! 下水道

## 「浸水対策強化月間」 実施中

平成16年6月1日～6月30日

下水道に関する情報は、ホームページでもご覧になれます。  
<http://www.gesui.metro.tokyo.jp/>

地域で育む水環境  
～「下水処理場」から「水再生センター」へ～  
東京都下水道局



浸水対策強化月間ポスター（平成16年度版）